

令和４年第１回鶴田町議会定例会一般質問通告一覧

(令和４年２月２４日正午ㄆ切り)

順位	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁
1	4 番 長内 齋	鶴田町職員にも「男女 共同参画」を	鶴田町では、平成２７年に制定された 「女性活躍推進法」に基づき、「鶴田町に おける女性職員の活躍の推進に関する特 定事業主行動計画」を策定しましたが、 管理職に占める女性職員の割合は未だに ゼロとなっています。 今後の町の対応について、町長の考え をお伺いします。	町長
2	1 番 澤田武彦	環境整備事務合負担金 について	1) 環境整備事務組合の運営負担金は構 成団体の可燃物等の搬入割合に応じて 按分され、近年は複数年平均から単年 度毎の按分と聞いているが、過去１０ 年以内の我が町のゴミ排出量と負担金 の推移、今後の推計見込みを伺います。 2) リサイクルゴミの取組状況と今後の 方針について伺います。	町長
		町の健康寿命について	健康長寿の町宣言〔平成１２年〕から ２１年経過と朝ごはん条例制定に施策か ら経年変化として平均寿命や検診率、子 どもの肥満度などどのような変化が見受 けられたのか今後の方針も含め伺います。	町長
3	2 番 澁谷正行	旧富士見小学校跡地売 買に伴う契約解除につ いて	買い取り先のアスクゲートより契約履 行の遅延による損害賠償を求める訴訟を 提起する方針を示した報道について、町 の対応をお伺いします。	町長
		S D G s の取り組みに ついて	国連が掲げる持続可能な開発目標、貧 困の廃絶など１７分野がありますが、日 本政府も推進本部を設け取り組みを促し ています。内閣府が１，４１８自治体に	町長

			調査し、66%が推進していると答えています。町はどのように回答したのか。また、今後の町の取り組み方針をお伺いします。	
4	3 番 蒔苗愛子	今冬の大雪による農業被害について	県では、昨年12月25日から1月24日までに発生した大雪による県内の農作物被害額が、東北町や六ヶ所村など14市町村で農業施設や畜産関係を中心に約3億3,570万円に上ったと発表しました。当町においても、令和4年2月7日に豪雪対策本部を設置し、大雪や暴風雪に対する対策に万全を期していることと思いますが、農業関係の被害状況とそれに対する対応はどうなっているのか伺います。	町長
5	5 番 小関 優	除排雪について	今シーズンの豪雪により、町民のみなさんは大変ご苦労されました。町民の方からは「除雪の仕方が悪い。」などの声。業者の方からは「除雪した後に、道路にまた雪を出している。」などの声。役場にはたくさんのご意見やご要望があったと思います。どのような声があり、どのように対応し、その後どうだったのか。雪が無い時期に対策しなければならないこともあると思います。除排雪費用は無制限に使える状況ではないが、その中で町民のみなさんの満足度を上げなければなりません。来シーズン以降の除排雪作業を、町民のみなさんの協力を得ながらスムーズに行うためには、一つ一つの声に耳を傾け、検証する必要があります。また、人事異動により担当職員は数年で変わりますので、申し送り漏れのないようにする必要もあります。ご意見やご要望などをデータ化し、検証・共有する必要がありますが、いかがでしょうか。	町長

道の駅あるじゃ（鶴の里振興公社）の調査について	12月議会の一般質問「収賄事件の調査について」の再々質問において、「取引業者との癒着が起きやすい、道の駅あるじゃ（鶴の里振興公社）について、不正などが行われていないか調査はしたのか。」の回答では、「町の管轄外であるため、調査はしていません。」とのことでした。 鶴の里振興公社の持ち株比率は、鶴田町90%、つがるにしきた農業協同組合5%、津軽ぶどう村5%となっております。町民の方からは、「あるじゃって、町で運営してるんでしょ。あるじゃで何か問題あれば、今いろいろ新聞等で騒がしているし、また町の名前に傷つくんじゃないの。」と心配の声があります。町民の不安を取り除くため、筆頭株主として、取引業者との癒着や不正等がないか調査する必要があると思いますが、いかがでしょうか。	町長
観光行政について	鶴田町では、観光客100万人を目指しています（H28観光客、約51万人）。100万人の観光客を迎え、観光による地域経済活性化を目指すためには、祭りやイベント、観光客の受入体制等を総合的に考え、行政と一体となり鶴田町の観光を推進する組織が必要です。そのため、コロナ禍でイベント等が少ない今こそ、鶴田町観光協会を法人化し、コロナ禍が終息した後の観光に向けて準備する必要があります。鶴田町観光協会の法人化へ向け、支援する必要があると思いますが、いかがでしょうか。	町長
姉妹都市フッドリバー市との国際交流事業について	所信表明の中において、「新型コロナウイルスの感染状況を見極めた上で、交流事業を推進してまいります。」と述べ	町長

		ております。このことから、当町にとって、フッドリバー市との国際交流事業は、重要な施策の一つとなっております。 新型コロナウイルス感染症が始まってから、まる二年。事あるごとにインターネットを活用した交流事業を提案してまいりました。特別な事情がなければ、学生は一年に一学年進級します。そして卒業してしまいます。この二年間、どのように国際交流事業を推進したのかお知らせください。また、令和4年度はどのように推進するのか、お知らせください。	
--	--	--	--